

熱田小児科クリニック掲示板

6月のテーマ

『りんご病 突発性発疹について』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

りんご病とは・・・ほっぺがりんごのように赤くなるので、りんご病と呼ばれています。太ももや腕には赤い斑点やまだら模様ができたり、頬がほてったり少しかゆくなることもあります。まれに、貧血を生じます。

原因は？ ヒトパルボウイルス B19 というウイルス感染によって起ります。幼児期から学童期に多く春から初夏にかけて流行することが多いです。感染経路は飛沫感染が主で、潜伏期間は6～11日発疹出現までは16日～18日です。

治療…自然に治りますが、かゆみが強いつきは抗ヒスタミン薬を処方します。

家庭で気をつけることは？

- ①食べ物…いつもどおりでかまいません。
- ②入浴…かまいません。ただし熱い風呂に長く入ると赤みが強くなって長びくことがあるので、短時間で切り上げましょう。
- ③運動…運動で体が熱くなったり日光に長くあたると、長湯と同じように赤みが長引きます。

突発性発疹とは・・・生後4～5か月から、1歳ぐらいの赤ちゃんが、突然高い熱を出して3～4日続きます。生まれて初めての熱であることが多く咳や鼻水は出ませんが、便がゆるくなることがあります。熱が下がると体中に発疹が出ます。はしかや風疹とは全く別の病気で、他の子どもにはうつりません。発疹は2～3日で消えます。熱が下がって発疹が出るころに機嫌が悪くなることもありますが、1～2日でおちつきます。

治療…熱が高く機嫌が悪ければ、解熱剤を処方します。

家庭で気をつけることは？

- ①高い熱…とても高い熱が続きますが、熱で頭がおかしくなることはありませんからあわてないように、熱が続く間は赤ちゃんがすごしやすいようにしてください。着せすぎ、かけすぎに注意し、いやがらなければ氷枕で冷やすのもよいでしょう。

- ②ミルク…飲みが少なければ、少しずつ何度も与えましょう。イオン飲料や果汁のほうが好むなら、それでもいいですね。熱がある場合水分を十分に与えることです。
- ③離乳食…食べるならいつでもどおりで大丈夫です。
- ④入浴…高い熱がある時や元気のない時以外は入ってもかまいません。